

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準および評価法

満期保有目的の債権は満期までの期間が比較的短いこと考慮し額面額としている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金は期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2. 基本財産および特定資産の増減額およびその残高

基本財産および特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
基本財産				
投資有価証券	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	51,267,605	6,480,075	0	57,747,680
小 計	51,267,605	6,480,075	0	57,747,680
合 計	81,267,605	6,480,075	0	87,747,680

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産および特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
投資有価証券	30,000,000	(30,000,000)	(0)	-
小 計	30,000,000	(30,000,000)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	57,747,680	(0)	(0)	(57,747,680)
小 計	57,747,680	(0)	(0)	(57,747,680)
合 計	87,747,680	(30,000,000)	(0)	(57,747,680)

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

該当なし

6. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
国債	30,000,000	30,065,010	65,010
合計	30,000,000	30,065,010	65,010

7. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増 加額	当期減 少額	当期末 残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 地方公共団体補助金	松崎町	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
合計		0	500,000	500,000	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし